

名古屋市公会堂 クラシック廣間 in 鶴舞中央図書館 聖夜を彩るフルーツと弦楽器の調べ2017

事業レポート

昨年に引き続き、クリスマスイブの12月24日（日）、改修工事で休館中の名古屋市公会堂が主催するロビーコンサートを鶴舞中央図書館で開催しました。

当日の会場の様子をご報告します。前回までのレポートもあわせてお読みください。



公会堂が近隣施設と協力して行う地域貢献型の「出張コンサート」。

会場は同じ鶴舞公園内の鶴舞中央図書館。昨年は『新聞コーナー』と呼んでいた場所は現在、『トモニマナブ広場』に改装。新しい椅子も並べて、静かに本番を待ちます。

開演を待つ大勢の来場者。

昨年よりかなり椅子の数を増やしたのですが、それでも座り切れない立ち見の方が周りを囲みました。会場が狭いため、これ以上椅子が出せないこともあり、ご不便をおかけしました。





いよいよ開演です。

演奏は昨年も出演した名古屋芸術大学在学・出身の

フルート四重奏団で、

新野智子（フルート）

富田祥子（ヴァイオリン）

大竹温子（ヴィオラ）

坂上諒（チェロ） の皆さんです。

心地よい音が流れ始めると、たまたま図書館に立ち寄った人も集まって来て、客席はますます膨れ上がります。

この日の演奏曲目は、チャイコフスキー「くるみ割り人形（行進曲）」から始まり、モーツァルト「フルート四重奏曲第1番（第1楽章）」、ドヴォルザーク「弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」（第1楽章）」とクラシック曲が続きます。

後半はジングルベル～サンタが街にやってくる～きよしこの夜～ホワイト・クリスマスなどクリスマスソングを次々と。

全10曲の盛りだくさんのプログラムに満員の客席も大満足です。



演奏の合間には、今回も曲の解説や楽器紹介を行いました。アンケートを見ると、「説明が分かりやすかった」「楽器のことがよく分かった」「司会が上手だった」「演奏家一人ひとりが身近に感じられた」と大変好評でした。

今回のコンサートの模様は、東海テレビのカメラが入って収録し、当日の夕方のニュース番組「日曜夕刊」の中で紹介されました。

クリスマスや年末の街の風景としてオープンスペースでのイベントは数多くありますが、図書館で生演奏が聴けるというのは、ちょっと珍しいようです。



さて、今回も無事終了し、ご好評をいただいたことから、来年2018年のクリスマスイブにも、この鶴舞中央図書館で同じように公会堂から出張コンサートをすることが決まりました。

皆さま、1年後に是非またお会いしましょう！

以下にごく一部ですが、アンケートにお寄せいただいた皆さまの感想をご紹介します。

- 去年聴いて、楽しい気持ちでステキな時間が過ごせたから今年も来ました。
- クリスマスにふさわしい曲を聴かせていただき久しぶりにゆっくりした良い時間を過ごすことができました。
- 盛り沢山の内容。好きな曲ばかりでとても楽しめました。
- 生の演奏が聴けてよかった。フルートの音色に癒された。
- きれいな音色でした。特にヴァイオリンとチェロ。
- こういうミニコンサートのことをはじめて知りました。とても感謝しています。曲だけでなく、楽器についての豆知識も話していてよかったです。
- 家庭的な温かいコンサート。とてもよかったです。
- たまたま立ち寄り聴いていましたが、思いのほか素晴らしく、とても良い時間でした。○本を読む休憩にちょうどよかった。
- 本を返しに来て、たまたまコンサートを聴くことが出来てラッキー！でした。若い人たちががんばっていると嬉しくなります。ありがとうございました。
- 一人暮らしなのでクリスマスといっても苺のショートケーキと梅酒で一杯といった毎年、今年はステキなクリスマスで幸せです。
- 改修後の公会堂、すごく楽しみでワクワクしています。

アンケートにお答えいただいた皆さま、ありがとうございました。